

(セミナー名称)		
2021 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称		
2021 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野		
がん化学療法		
3. 実施報告		
<p>2022 年 2 月 6 日 (日) に 2021 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナーを「泌尿器科領域」をテーマに Web 形式で開催した。</p> <p>第一部では山形県立中央病院 泌尿器科部長 沼畑健司先生と宮城県立がんセンター 主任薬剤師 土屋雅美先生より腎癌薬物治療と多職種連携についてご講演頂いた。第二部では山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 准教授 加藤智幸先生より進行性尿路上皮癌の治療戦略についてご講演頂いた。</p>		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数		
<p>2022 年 2 月 6 日(日)</p> <p>東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久</p> <p>38 名が参加</p>		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果		
<p>第一部では、沼畑健司先生より「腎癌薬物療法 IOTKI の役割」と題し、腎癌の臨床的特徴について解説頂いた。その後、腎癌薬物療法で使用される IO (免疫療法薬)、TKI (分子標的治療薬) について併用療法(IO+IO、IO+TKI)の特徴や注意点について自験例を提示頂きながら講演頂いた。続いて土屋雅美先生より「多職種連携でアベルマブ治療をすすめる 3 つのポイント」と題し、「情報共有」「標準化」「患者教育」のポイントについて自施設での取り組みをご講演頂いた。情報共有の取組みとして院内 irAE 部会による irAE 対応フロー策定や症例報告会開催などの活動について紹介頂いた。</p> <p>第二部では加藤智幸先生より「進行性尿路上皮癌の新たな治療戦略」と題してご講演頂いた。一次治療から三次治療まで各薬物治療の特徴や臨床試験の結果を解説頂いた。膀胱癌診療ガイドラインやエンホルツマブベドチンについても講演頂き一次治療から三次治療までの治療戦略について整理することが出来た有意義な研修会であった。</p>		